

## 序文

早稲田大学エジプト学研究所の紀要「エジプト学研究第 20 号」が発刊される運びとなりました。この発刊に関わった人は大変だったと思います。おつかれさまでした。しかし紀要なり報告書を出さなくなったら研究者として失格です。今巷では STAP 細胞の論文で学術研究の質が問われています。確かに間違いや思い違いはあるし、又出る可能性はありますが、出版しないことの方が罪が重いことを忘れてはいけません。私たちの論文やフィールドノートは STAP 細胞のように世の中をどうこうするものではありませんが、研究は研究で同価値です。襟を正して正確に誠実にあたらなければならないのです。

そういう意味では今回も論文が少なかったです。もちろん皆さん日々の生活が忙しいのはわかるのですが、何でこんなに苦難の道を選んだのかをもう一度思い出して下さい。エジプト考古学が好きだったからでしょう。そしたら好きな学問を懸命にやることはつらくはないはずです。そうでないと、毎日の生活に流され自分を見失ってしまうと、この苦勞が意味をもたなくなってしまうのです。研究を仕事としてではなく楽しみとして専念して下さい。では次の出版物が楽しみです。ともあれお疲れ様でした。

吉村 作治  
早稲田大学名誉教授